
保健看護実習 A (母性)

池田 理恵 教授
齋藤 真希 講師
柳本 佳世子 助教

3 年次後期～4 年次前期・必修

2 単位・90 時間

【概要・目的】

本科目は、看護の対象を母性の視点から理解し、母児の健康を保持増進して行くための看護を学ぶ。特に周産期の対象理解を深め、必要な知識・技術・態度を養う。

【到達目標】

- 1) 実習を通して、生命の尊厳や新たな家族の形成について自己の考えを深め、母性看護の役割について考察できるよう学修する。
 - 2) 周産期にある対象を身体的特徴、心理的特徴、社会的特徴の側面から理解できるよう学修する。
 - 3) 対象に応じた看護過程を展開する。
 - 4) 看護計画に基づいて看護実践を行う。
 - 5) 母児の健康を維持・増進するために必要な継続看護と保健指導について学修する。
 - 6) 周産期医療におけるハイリスク状態にある児と家族の特徴を理解し、ケアについて学修する。
 - 7) 地域における母子保健活動について理解できるよう学修する。 なお、詳細については、実習要綱を参照。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 実習場所：和歌山県立医科大学附属病院 総合周産期母子医療センター
実習場所：岡本助産院 むとう助産院
- 2) 実習期間：2週間
- 3) 受け持ち対象：原則として妊産褥婦と新生児を受け持つ

なお、詳細については、実習要綱を参照。

【評価】

実習目標達成度 (60%)、実習態度 (20%) 提出物 (20%)

【教科書】

【推薦参考図書】

【その他】